

寄稿 国際交流協会の役割

第5回「外国人県民・児童生徒の居場所づくりと
外国人児童生徒のための母語教材づくり
～兵庫県国際交流協会の取り組み～」……1-2

団体の紹介 ●大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do……3

国際的に活躍している人々の紹介……3

陳 宏真氏

みんなちごうちおもしろい～♪……4

JICAデスク大分からこんにちは「隊員体験記」……4

Event Calendar……5-6

私たちの声を聞いてください!……7

ブラン・セバスチャン氏

Information……7

イベントの報告……7

通訳・翻訳ボランティア スキルアップ講座



第5回

外国人県民・児童生徒の居場所づくりと 外国人児童生徒のための母語教材づくり ～兵庫県国際交流協会の取り組み～

今年度は「国際交流協会の役割」と題して、先進的な取り組みを行っている国際交流協会等に、国際交流団体や在住外国人に対する支援策等について解説していただきます。
第5回目は、兵庫県国際交流協会の石光潤子さんの寄稿です。

▶ はじめに

阪神・淡路大震災を契機として、兵庫県内では神戸を中心に、外国人支援団体や外国人コミュニティが多く作られました。兵庫県国際交流協会では、これらの団体と協働で様々な多文化共生事業を行っています。今回は、特にユニークな2つの取り組みをご紹介します。

▶ 外国人県民・児童生徒の居場所づくり

県内各地の外国人県民向け日本語講座や、児童生徒向け日本語教室、母語教室、学習支援教室は、彼らが定期的に集まる場所として、居場所の一つとなっています。兵庫県国際交流協会は、地域の民間団体と協働で、地域のニーズに合った「居場所づくり」を目指す事業を実施しています。

〈事業の概要〉 平成24年度は県内46団体と122事業を協働実施しています。

基本事業 地域の民間団体が一つ又は複数実施します。

①成人向け日本語教室、②児童生徒向け日本語・教科学習教室、③児童生徒向け母語・教科学習教室

追加事業 ②か③の実施が前提で、地域ニーズに合わせて団体が事業を選択実施します。

④先輩に聞こう、⑤こころや進路のカウンセリング、⑥活動支援、⑦進学教科学習集中教室

1団体は組み合わせで9事業まで申請可能。事業により補助金額が異なります。

〈各事業の実施例〉

- 日本語教室の形態は自由。散住地域は派遣型・送迎も実施。日本の生活習慣を学ぶ季節行事、お弁当づくり、料理教室、親子のプレスクール、学校文化の学習会等。
- と③ 学期中の実施。夏・冬・春休み集中講座。散住地域は派遣型・送迎も実施。プレスクール、読み聞かせ教室、発表会やイベント、図書館・科学館等へのフィールドワーク等を実施。
- 先輩から勉強や受験勉強、友人関係づくりのコツを聞く会を実施。先輩と大学見学。
- 元教師による身近な進路相談。心理カウンセラーによる悩み相談。親や教師からも相談がある。
- 児童生徒がイベントの企画・準備・実施し、大学生ボランティア等が支援。スピーチ大会、料理教室、クリスマス会等の行事、フィールドワーク、カルタ大会、ダンス、スポーツ活動等。
- 進学のため特に教科学習が必要な児童生徒に対し、ほぼマンツーマンの形で、集中支援を実施。

〈面白い地域の取り組み例とその成果〉

各居場所では、上記事業を組み合わせ、工夫を凝らした教室外活動を行い、成果を上げています。

例1) 日本語・母語・教科学習教室の子どもが月1回合同で、畑で野菜を育てる。種を蒔き、育て、植物の生長の理解に役立てる。収穫物は料理して食べる。教室外活動を通し支援者と親しくなり、信頼関係が増し、子どもの情操が安定、学力の向上が見られた。

例2) 親子で普段なかなか行けない図書館、水族館等を訪問。図書カードを作り、本の借り方を学ぶ。訪問先までの公共交通機関の利用方法等親子で社会学習する。

例3) 児童生徒と教科学習支援の大学生ボランティアが、イベントを企画から運営まで協力して実施。子どもたちがまとまり、大学生とも仲良くなれた。大学生も子どもの普段と異なる面を発見し、以降の学習支援に効果を上げることができた。

各団体の取り組みは、当初、当協会が想定した以上の成果をあげています。これからも居場所づくり事業の充実を楽しみに、その展開を期待しているところです。



⑥活動支援:よさこい踊りの発表

▶ 外国人児童生徒のための母語教材づくり

外国にルーツを持つ子どもたちにとって、母語を学ぶことは、家族間のコミュニケーションやアイデンティティの確立などに大きな効果があるとされています。日本で育つ彼らにとって、母語の学習においては母文化の理解にも配慮した教材が必要であることから、当協会では、平成21年度から外国人コミュニティ等と協働で、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語の母語教材を作ってきました。

作成教材 全て日本語と母語の併記の教材です。

(1) ベトナム語

- ① 小学生向けベトナムの昔話（山の精と水の精等）の絵本、朗読CD、読解理解の問題集
- ② 中・高校生向けベトナムの「恋」の昔話（漁師の恋わずらい、金亀神の大弓等）の読本
- ③ 子どもと親の防災ガイドブック

(2) ポルトガル語

- ① 絵入り単語カード（約2,000語）、単語カードを基にしたクロスワードパズル（解答付・無）
- ② アルファベットと音節ワークブック、基礎文法問題集、自己紹介・家族紹介演習ノート
- ③ 子どもと親の防災ガイドブック

(3) スペイン語

- ① 絵入り単語カード（約2,000語）、アルファベットと音節ワークブック、基礎文法問題集
- ② 子どもと親の防災ガイドブック
- ③ 日本の昔話（浦島太郎、桃太郎、つるの恩返し、かじじょう）

子どもと親の防災ガイドブックは、7つの自然災害（地震・津波・台風・大雨及び洪水・土砂災害・雷・竜巻）の特徴、対応策や注意事項等を分かりやすくまとめている。日本語・母語併記のため、子どもは母語、親は日本語を学び、親子一緒に防災について学び、考える教材となっています。

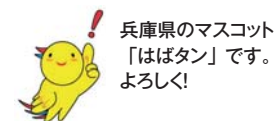
母語教材は、全て当協会HP(<http://www.hyogo-ip.or.jp/bogo/index.html>)に掲載しています。ご自由にダウンロードください。



ポルトガル語絵カード

〈教材の活用と今後の展開〉

- ・作成教材は、県内母語教室、外国人コミュニティ、県教育委員会が小中学校に派遣する多文化共生サポーター（母語支援）により広く活用されています。
- ・平成25年度は、日本の昔話読本と防災ガイドブックの多言語化、防災ガイドブックを活用した防災研修会を外国人コミュニティや母語教室と実施する予定です。



兵庫県のマスコット
「はばタン」です。
よろしく!

Profile

石光 潤子 (いしみつ じゅんこ)

兵庫県職員
2010年4月～(公財)兵庫県国際交流協会
多文化共生課長

「大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do」

2012年10月28日、今回も14カ国251名の車いすアスリート達が、秋晴れの太分を駆け抜けました。大分国際車いすマラソンは、世界初の車いすだけのマラソン大会として、国際障害者年である1981年に始まりました。その後、スイス・ドイツ・韓国においても開催されるようになりましたが、太分は常に世界の障害者スポーツをリードしてきました。

選手たちは年に1度のこの大会に出場するため、働きながら日々練習を重ねています。故郷から何千マイルも離れたこの土地で、42.195キロ途切れることなく続く沿道の観衆が自分の名前を呼んで応援してくれることに感動し、涙ぐむ選手たちもいます。太分に来れば世界中の選手たちと一緒に走ることができると、この日を心待ちにしているのです。

彼らを支えるボランティアは2,000人を超え、私たちCan-doもその中の1グループです。私たちは、選手が不自由なく気持ちよくレースに参加できるよう、様々な場面で



通訳のお手伝いをしています。空港・駅への送迎に始まり、主にマスコミ対応、滞在中の食事や買い物、学校や施設訪問に同行する一方で、大会文書の翻訳などもしています。

レース当日は、様々なチェックをこなして本番に挑む選手たちの通訳を、英語・フランス語・スペイン語・タイ語・韓国語・ドイツ語の6カ国語で対応しました。その他、ロシア語・ポルトガル語・中国語・イタリア語のボランティアも選手のエントリーによって対応できるよう、マラソンの開催される週だけでなく、毎月1回の定例研修会を行っています。

10代から80代までのメンバーに加えて、今回は初めて県立芸術文化短期大学生21名が、6月の車いす研修から参加してくださいました。

大分国際車いすマラソン通訳ボランティアCan-doでは、障害者スポーツに関心のある方のご参加をお待ちしています！



人物の紹介

～国際的に活躍している人々の紹介～

今回は、9月にインターンシップで国際交流プラザに来ていた、台湾出身のAPU4年生陳宏真（チン・ホンジェン）さんを紹介しします。

陳さんは台北市で生まれ育ち、日本に来る前の3年間は家族と離れて高雄市で大学生活を送っていました。大学の日本語学科で学んでいるうちに、「もっと日本語が上手になりたい!」という思いが膨らみ、2011年9月にAPUに編入し、現在国際経営学部で学生として勉学に励んでいます。

陳さんのおばあちゃんは日本人（熊本県出身）だそうで、日本で働いていた台湾人のおじいちゃんとの結婚を機に台湾へ移り住んだとの事。そんなルーツもあり、陳さんは日本での新生活に全く抵抗がなかったそうです。

太分の印象をたずねてみると、「勉強するにはとてもいい環境です! 都会だと遊びや買い物の誘惑に負けてしまいそうだし、生活費もかかるから。静かな環境で勉強に集中できるし、疲れた時には大好きな温泉に入ってリフレッシュできるので満足していますよ!」と、学生の鑑とも言える答えが返ってきました。

そんな陳さんの子どもの頃の夢は、マンガ家や画家になることだったそうで、大人になるにつれてコンピュータ・エンジニアへと変わり、就職活動が現実となった今では、日本で外資系の企業に就職したいと考えているようです。

最後に、陳さんの人生のモットーをたずねると、力強いまなざしで

こう答えてくれました。「Impossible is nothing !! 何もしないうちから諦めず、何にでも挑戦する! うさぎとかめの『かめ』のように、始めは負けているように見えても、頑張り続ければ最後には必ずいい結果が待っていると信じています!」

陳さんの今後の活躍に期待しています☆

宏真の「ヨコがびっくり日本人!」

- ① 冬でもアイスクリームを食べている…。どうして寒いのにアイスクリーム?!
- ② レストランでびっくり! 温かいおしぼりと一緒に、とても冷たい氷水が出てくる!
- ③ コンビニで売っている携帯電話の充電器に電池が使われている。これってecoじゃない! 台湾ではみんな、携帯電話の電池パックを2個持っています。電池がなくなると、常に持ち歩いている予備パックを使うのが当たり前。



田植体験

みんなちごうちおもしろい♪

大分弁：みんなちがっておもしろい♪の意

普段は当たり前のようにやっているけど・・・これって日本だけの習慣?? 海外旅行に行くと現地の人の様子を見てビックリ! なんて経験がアナタにもあるハズ! このコーナーでは、世界各国の文化や習慣の違いを楽しく共有していきます♪ 今回のお題は・・・



『飲み会でのルールっちあるん?』



ベナン

始めにどんぶり位の容器に入った水を飲んで、少し地面に垂らします。**大地への感謝**をしているらしい。それからソダビというヤシの木から作られたお酒をショットグラスで飲みます。後はビールやワインや自由で飲んで、喋って、踊ります。大抵、代金は誘った人が上司が払っています。【H.U】



モンゴル



ウォッカを飲みます。**奇数がいい数字**なので、奇数杯飲みます。ただし、1杯だけではなく必ず3杯は飲むように勧められます。そして、次にプラス3杯回ってきます。3杯+3杯=6杯だと偶数になるので、さらに3杯回ってきます。**9という数字は一番良い数字**なので、9杯飲むようにと言われますが、ここまで来るとたいいていの方は酔っ払ってしまいます♪ 【R.W】



バブアニューギニア

スパックしないこと! (キレないこと!)こちらには強い酒(スティームというシュガーやバナナなどを発酵させ蒸留したもの)がありますが、これを若者たちが飲み、スパックして毎日けんかや殺人があとを絶ちません。困った状況です。【Y.O】



オーストラリア

日本のような上司や同僚との「飲み会」はないので、**ルールもありません**。オーストラリアでは、レストランやパブ、バーなどで友達や家族とリラックスして飲むことがほとんどです♪ 【N.F】



韓国

目上の人より**先に飲み始めないこと!**そして、目上の人の前で飲む時は、**横を向いて手でグラスを隠して飲むこと!**です。日本と違って注ぎ足しの文化はないので、相手の**グラスの飲み物がすべて空いてから注ぐ**のがマナーです。【Y.N】

JICA デスク大分 からこんにちは

大分県から派遣されている青年海外協力隊(20歳から39歳まで)は12名、シニア海外ボランティア(40歳から69歳まで)は6名、短期ボランティアが1名、合計19名の方々が活動しています。それぞれアジア、アフリカ、南米、大洋州の18か国で活躍中!(2013年1月31日現在)

今回は、2010年1月から2年間、青年海外協力隊で活動した佐藤亜美(さとうあみ)さん(大分市出身)の任国での様子をお伝えします。

みなさんは、パラオという国をご存知でしょうか? 徳島県の真南3,000kmにある、人口2万人の島国です。リゾートやマングローブのイメージが強いパラオですが、教科書に載っていない深い歴史もあります。

戦前の日本にとって「海の生命線」と位置づけられていたパラオには日本政府の南洋庁が置かれ3万人もの日本の民間人が住み、まちなかには郵便局や豆腐屋さんがあったそうです。パラオの学校教育では今でも日本との歴史や日本語の授業があります。道を歩けば「コンニチハ! ヨロシクー」と陽気に声をかけてくれます。日本統治時代に小学生だった80歳位の方は、古きよき日本語を流暢に話してくれます。パラオ語になった日本語も1,000語ほどあります。ハンガーは「エモンカケ」、店員は「バントーサン」、ブラジャーは「チチバンド」、道端の草刈は「キンローホーシ」、など言葉のタイムカプセルのようです。また各家庭にはキッチンマンの醤油とわさびが常備されていて、「サシミ」や「ニツケ」、「マゼゴハン」が食卓に上ります。意外なこと、グアバには味噌をつけて食べます。

常夏の島では、一年中魚やフルーツが豊富にとれ、スコールのおかげで飲み水にも困りません。そこで一番使われる日本語は「ダイジョーブ!」食べ物も心も豊かなこの島では、ほと

んどのことは大きな問題ではないのです。競い合ったり、欲張ったりせず、自分が物を食べるときは、まず先に人に分けてくれます。

パラオ人の礼儀正しいところ、ゆずりあいの精神、年上の人を敬うところなどは、日本人と似ています。

そんなパラオで2年間、測量をし、GIS(地理情報システム)を使って地図を作り、地理解析のプロジェクトを現地の同僚と共に進めてきました。今では操作方法を習得したパラオ人同僚が自らプロジェクトを進めています。

「消滅することがボランティアの最終目的」。矛盾した目標にも見えますが、何百年も他国から支配されてきた小国が、手助けがいらなくなって名実ともに独立し自立する日は一歩ずつ一歩ずつ近づいているのではないかと感じます。



同僚の第一子誕生の儀式「ンガス」にて。(結婚式でもある)



国際協力推進員の渡辺(わたなべ)までいつでもどうぞ

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko 総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 E-mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



よりよい明日を 世界の人々と

FEB

2

MAR

3

プラザのカウンセリング・各種相談のご案内

中国語無料相談

毎月第2・第4火曜日と木曜日

時 間：火曜日：13：00～16：00

木曜日：10：00～13：00

会 場：国際交流プラザ

予 約：不要 相談料：無料

相談員：児玉 文玉（こだま うえんゆう）

※県内在住中国語圏の方のための無料相談です。

タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日

時 間：13：00～16：00

会 場：国際交流プラザ

予 約：不要 相談料：無料

相談員：吉武ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）

※県内在住フィリピン人の方のための無料相談です。

在住外国人のための無料相談

毎月第3水曜日

時 間：13：00～16：00

会 場：国際交流プラザ

予 約：不要 相談料：無料

※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。

相談員：伊藤精（行政書士）

※県内在住外国人のための無料相談です。

入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日

主 催：外国人 Life Support

時 間：13：00～16：00

会 場：国際交流プラザ

予 約：必要 相談料：無料

対応言語：日本語・英語

※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

在住外国人のための無料健康相談

毎月第3水曜日

主 催：大分県済生会日田病院

時 間：14：30～15：30

会 場：国際交流プラザ

予 約：不要 相談料：無料

○健康が不安、どこに相談すればいいの？

○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。

県内在住外国人で、低所得（住民税非課税世帯等）の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

FEB

2日（土）タガログ語無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

3日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

主 催：外国人Life Support

9日（土）国際理解講座 映画上映会

「プージェー puujee」-変わりゆくモンゴルを知る-

青年海外協力隊の隊員としてモンゴルで2年間活動してきた渡辺了氏が、遊牧民の生活を追ったドキュメンタリー映画を通して、近代化の波に吞まれ変わりゆくモンゴルの様子や歴史などを紹介します。

■プージェー [puujee]：探検家の関野吉晴は、南米最南端から人類誕生の地アフリカを目指す旅「グレートジャーニー」の途上、モンゴルの大草原でひとりの少女に出会った。自在に馬を操る凛々しい姿の少女プージェーは、当時関野の娘と同年だった。プージェーに魅了された関野と、プージェーとその家族との4年間の交流を記録したドキュメンタリー映画。

時 間：18：30～21：00

会 場：iichiko総合文化センター B1F

【映像小ホール】

講 師：渡辺 了 [JICAデスク大分]

予 約：不要 受講料：無料

19日（火）タガログ語無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

20日（水）在住外国人のための無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

20日（水）在住外国人のための無料健康相談

時 間：14：30～15：30 会 場：国際交流プラザ

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

お問合せ：大分県済生会日田病院

TEL：0973-24-1100

23日（土）日本語deトーク

国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に日本語deトークを開催します。この日本語deトークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。興味があるテーマに気軽に参加してみませんか？

テーマ：「バレンタインデー」

時間：13：00～14：30

会場：国際交流プラザ

定員：各5名（先着順） ※要申し込み 参加費：無料

TEL：097-533-4021

E-mail：hiramoto@emo.or.jp

MAR

2日（土）タガログ語無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

3日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

主 催：外国人Life Support

5日（火）通訳・翻訳ボランティア スキルアップ講座

今年度、国際交流プラザでは、ご登録いただいている全13言語の通訳・翻訳ボランティアを対象に、「医療通訳」「学校通訳」「災害通訳」をテーマにしたスキルアップ講座を開催しています。締めくくりの今回は「災害通訳」編として、災害時に通訳をする上で気をつけなければならないことや、知っておくべき情報等を学んでいただく予定です。ご登録者はぜひご参加ください。

時 間：14：30～16：00

会 場：iichiko総合文化センター4F【中会議室1】

対 象：国際交流プラザの通訳・翻訳ボランティアに、平成24年12月末時点で登録いただいている方

参加費：無料 ※要申し込み（申込締切：2月28日（木）まで）

19日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

23日（土）日本語deトーク

テーマ：なし（フリー・トーク）

時 間：13：00～14：30

会 場：国際交流プラザ

定 員：各5名（先着順） ※要申し込み 参加費：無料

TEL：097-533-4021

E-mail：hiramoto@emo.or.jp

27日（水）在住外国人のための無料相談

時 間：13：00～16：00 会 場：国際交流プラザ

27日（水）在住外国人のための無料健康相談

時 間：14：30～15：30 会 場：国際交流プラザ

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

お問合せ：大分県済生会日田病院

TEL：0973-24-1100

Facebook
はじめました！

おおいた国際交流プラザでは、blog や twitter に加えて、新たな広報ツールとしてFacebook ページを開設しました。

Facebook ページを通じて様々な情報を提供し、また皆様からのご意見をいただきたいと思っています。

<http://www.facebook.com/oitaplaza>



いいね!! クリックお願いします！

OITA INTERNATIONAL PLAZA EVENT
おおいた国際交流プラザイベント

国際理解講座 映画上映会

「プージェー puujee」
-変わりゆくモンゴルを知る-

2月9日（土）18:30～21:00

場所：iichiko総合文化センター
B1F【映像小ホール】



入場無料 予約不要

20世紀末、
変わりゆくモンゴル
少女は草原を駆け抜けた

2007 キネマ旬報文化映画ベストテン第3位
2007 第15回地球環境映像祭環境映像部門入賞
2007 韓国EBS国際ドキュメンタリー映画祭グランプリ受賞

＊コンパル博覧会2013春＊

昨年に引き続き、コンパルホール全館を使ったイベント『コンパル博覧会』を開催します！

コンパル講座の受講生によるステージ発表や作品展示のほか、新企画の「講師によるワークショップ」など多彩な内容！市民スポーツデーも同時開催。

★コンパル語学講座(英語・韓国語)の講師との無料交流ラウンジもあります！

外国語のスキルアップを考えている方はぜひお試しください！

■期 間：2月22日（金）～24日（日）

■時 間：イベントにより異なる

■入 場：無料(※一部有料)

イベントの詳細は、

コンパルホールHP

<http://www.compallhall.jp/>にアクセス！

お問合せ：コンパルホール ☎097-538-3700



昨年の様子

FREE BOOKS!!!
本を無料で
配布します!!!

FREE FOREIGN BOOK GIVEAWAY

外国語図書
無料配布

本のリサイクルもエコ！
プラザが所蔵する中古の外国語
の本を無料で配布します。
お一人様最大10冊までお持ち帰りできます！
*マイバッグをご持参ください。

期 間：平成25年3月4日(月)～9日(土)
時 間：9:30～19:00
会 場：iichiko総合文化センターB1F
おおいた国際交流プラザ

わたしたちの声を聞いてください!

「スポーツをしましょう」

ブラン・セバスチャン

私は南フランスから来ました。地中海に面した「トゥーロン」という町の出身で、そこは天気がとても良く綺麗なビーチがたくさんあります。トゥーロンの人たちが大好きなものの1つに、ラグビーがあります。多くの人々は、毎週のようにラグビーの試合観戦に行き、応援歌を歌って選手を応援します。

私は今から13年前、友達の紹介でラグビーを始めました。このスポーツをしている選手や仲間たちは、Fighting Spiritとともに謙虚さを併せ持ち、とても親切で賢明です。

日本にきた当初は、大分市でラグビーができるとは思っていませんでしたが、昨年ラグビーをしているニュージーランド人と出会い、それからは週に2回のペースで練習をしています。練習を積み重ねることは、自信にもつながっていきます。練習をした後は、ストレスもなくとても元気になっています!ラグビーを通して新しい日本の友だちもできました。皆さんのラグビーの上手さに驚くと同時に、その仲間と一緒に練習をすることで、自分自身も少しずつ上達していると実感できます。

日本人はスポーツが大好きですね!「If you look good, you play good!」という言葉にあるように、私は大分でラグビーを始めてから、素敵なラグビーウェアを買いました♪

駄ノ原球技場ではよくラグビーの試合があり、小さい子どもたちから高校生、大学生の試合を観戦できます。

ラグビーは19世紀の終わりにイングランドで生まれたスポーツで、今では世界中の人々に親しまれています。2019年には、日本でラグビーのWorld Cupが開催されます! 皆さん、ぜひ試合を観戦しながら美味しいビールを飲みましょう!!!



トゥーロンラグビークラブのロゴ



マイヨールスタジアム



ウルトラマランクラブ

INFORMATION

通訳・翻訳 ボランティア募集!!

おおいた国際交流プラザには、現在 **13ヶ国語**【英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ドイツ語・ロシア語・ポルトガル語・マレー語・インドネシア語・タイ語・ベンガル語】の通訳・翻訳ボランティアの方が登録しています。主にイベント・ワークショップ・県民と外国人の交流会における通訳の補助や、手紙・資料などの翻訳でご活躍いただいています。あなたも通訳・翻訳ボランティアに登録して、自分の語学力を活かしてみませんか?

登録希望者は、ホームページより登録票をダウンロードし、国際交流プラザへFAX、E-mail、または直接提出してください。

※英語での登録の場合、課題の提出が必要となりますので、国際交流プラザまでご連絡ください。こちらから課題文をお送りいたします。

●通訳・翻訳ボランティアの紹介をご希望の方●

「イベントで通訳をお願いしたい!」「外国語で書かれた手紙を翻訳して欲しい!」などといった依頼も受け付けています。お気軽に国際交流プラザまでご連絡ください。(申込書はホームページからダウンロードできます。)

※政治・宗教・営利・司法・戸籍・医療行為等に関わる依頼は受け付けられません。



イベントの報告 通訳・翻訳ボランティア スキルアップ講座

おおいた国際交流プラザにご登録いただいている全13言語の通訳・翻訳ボランティアを対象に、12月12日(水) iichiko総合文化センター4F【中会議室】にて『通訳・翻訳ボランティアスキルアップ講座』を開催いたしました。

今回は「学校通訳」編として、大分人権教育ワークショップ研究会代表足立恵理氏を講師にお迎えし、グローバル化する学校の現状と課題について学んでいただきました。

「少数派ゲーム」というカードを使った行動ゲーム、グループディスカッション、中国籍の高校生による体験談などを通し、「学校通

訳というのは、機械的に言葉を通訳すればいいのではない。それぞれの児童が持つ文化的背景を理解し、日本文化とのずれをキャッチすることが必要なのだ。」と締めくくった足立氏の言葉に、参加者からは「自分の役割は、単なる文字作業ではないことが分かり、大変勉強になった。」「少数派(外国籍・外国にルーツを持つ児童)の感じ方、思いが分かった。」との感想が寄せられました。



おおいた国際交流プラザ

La Estación 41

発行日 平成25年1月31日(奇数月末発行予定)
編集・発行 財大分県文化スポーツ振興財団 国際交流課

〒870-0029 大分市高砂町2番33号 スペース ビー
iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内
開館時間: 9:30~19:00
閉館日: 日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその翌の土曜日※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052
E-mail: in@emo.or.jp Twitter: @oitaplaza
Facebook: おおいた国際交流プラザ
URL: http://www.oitaplaza.jp/